

第2節 「農」を守り、活かすまちをつくる

安心で安全、新鮮な農産物の供給源として、また都市環境の観点から、農業の振興とともに、市民と「農」の交流の推進により、「農」を守り、活かすまちをつくります。

1. 「農」を守り、活かす

今、求められていること

- 都市における農地は、新鮮な農産物の供給源だけでなく、自然環境の維持や雨水の保水などの多様な機能を有しており、その機能の確保や活用が求められています。
- 農業従事者が減少し、遊休農地*が見受けられる中で、「農」を守るため、多様な担い手を確保することが重要です。
- 市民に、より安心・安全で新鮮な地元農産物を供給する地産地消の取り組みや環境にやさしい農業を促進する取り組みが求められています。

取り組みの方向

- 農業の振興を図るため、環境にやさしい農産物の普及・拡大を促進します。
- 「農」を守るため、関係団体等との連携により、「農」の多様な担い手を育成・確保し、遊休農地対策などに取り組みます。
- 地産地消を進めるため、学校給食における地元農産物の使用を拡大するとともに、地元農産物の市内販売を促進します。

<主要な取り組み>

- エコ農産物の普及・拡大
- 地元農産物の直販の促進
- 農産物のブランド化を通じた担い手の育成
- 学校給食への地元農産物の普及・拡大